

## 「プラスチックごみ問題を知る！」

講師：福岡市環境局 ごみ減量推進課

日時：7月15日（火）19：00～20：00 主催：消費生活アドバイザー研究会

場所： オンライン講座

参加者：12名（会員11名、会員外1名）

### 講座報告

#### 1. プラスチックごみはどこから来たのか

西区の小学生と生の松原海岸清掃の活動から

海洋ごみはどこからくるの？

陸で発生したごみが80%（国調査）博多湾では90%

海洋ごみってどんなもの

漂着ごみ、漂流ごみ、海底ごみ そのうち94%が海底ごみ



#### 2. なぜプラスチックごみが問題になっているのか

福岡市の家庭から出る燃えるごみ調査によると

1位 紙類 33.5%（重量比）

2位 生ごみ 32.3%

3位 プラごみ 19.5% ←かさは一番大きい

プラスチックのメリット（軽い、加工しやすい、衛生的、安い）があるので大量に使われている

プラスチックを使わないのではなく、使い捨てプラスチックを減らしていく方向を目指している

#### 3. なぜプラスチックごみはいけないの？

現状は、

2014年日本の一人当たり容器包装プラスチック廃棄量は、米国についで世界第2位

2050年には海洋では魚の量をプラスチックごみの量の方が上回るのではないかとされている

3つの視点

① 地球の大きさは無限大ではない

プラスチックごみは家から消えても地球上からは消えない

例えばペットボトルは分解（自然にかえること）に 400 年かかる

- ② 地球でともに暮らす生き物への責任  
死んだアホウドリのお腹から大量のプラスチックごみが！
- ③ 未来の世代への責任

#### 4. 私たちにできること

プラスチックごみ 900 万トンの 99%が適正に処理されている

→ 1%が自然界へ流出（約 14 万トン）

100%にすることはできない。1%が流出することを前提に考え、プラスチックごみ全体量を減らすことができるかが肝心

- ① ごみになるものをもらわない・・・マイバッグ、マイボトル、マイはしなど
- ② 決められたごみ出しルールを守る・・・ごみ散乱防止
- ③ 資源物は正しく分別し、リサイクルに参加する  
全てのペットボトルを「ボトル to ボトル (B to B)」でリサイクルしている
- ④ プラスチックの代替素材で作られたものを選ぶ・・・バガス（サトウキビ搾汁後の残渣）、竹など
- ⑤ エシカル消費等、環境に配慮した商品を選ぶ
- ⑥ 町内清掃など、近くの清掃イベントに参加してみる
- ⑦ 海洋プラスチックごみ問題のことを人に伝える

#### 5. プラスチックごみに関する福岡市のとりくみ

プラスチックの分別が令和 8 年度にスタート

分別の対象は？ プラスチックの容器包装とプラスチック製品

いつから？ 2027 年 2 月 1 日から 週 1 回収集

指定袋の色とサイズは 水色、サイズは 2 種類（45ℓ、25ℓ）

プラ分別のキホン

- ・プラスチック以外の素材が含まれているものはプラごみではない（洗濯ばさみのバネなど）
- ・1辺の長さが 50 センチ以上のもの（レジヤシートなどは 50cm 未満に切ると OK）
- ・汚れがひどいもの（マヨネーズや納豆は水で洗い流せば OK）

新たなごみ袋「ふくレジ」

プラスチックごみの 1 つであるレジ袋。レジ袋削減のため、福岡市内のコンビニ、スーパー、ドラッグストア等のレジカウンター付近で、福岡市指定ごみ袋として使える

レジ袋「ふくレジ」を発売。「ふくレジ」は1枚から購入可。

AD研メンバーの質問や感想から

- ・鳥栖市ではすでにプラごみ回収をやっている。汚れたプラごみの扱い（納豆容器など）が違うが自治体によって異なるのだろうか？
- ・小さなサイズの「ふくレジ」はいい取り組みだと思う。
- ・自販機があるのに、回収ボックスが置いてないとか、そもそも最近ゴミを捨てる場所がなくなった。ポイ捨てを減らすためには捨てる場所を作らないといけないのではないか
- ・講座の内容ではないが、講師の話し方がゆっくりで、難しくなく、丁寧で、講座をする立場としてとても参考になった。
- ・海洋ゴミの94%が海底ゴミだという事実に驚いた
- ・どうしても回収できないプラごみの1%を減らすには、全体のプラごみを減らすことという考え方に共感した。
- ・回収したあとどうするかで、プラごみの出し方がかわる。自治体ごとの統一はできていないと思う。
- ・プラごみについて、皆に伝えていかないといけない

以上